

大地震発生時のフローチャート（施設内）

地震発生

地震中

①

周囲の状況の把握
①倒れそうな物の確認
②患者・利用者様の確認

②

行動に移す
※第一優先は、自身の身の安全の確保
①安全の範囲で、倒れる事が予測される物品の近くにいる人の避難、立っている方や介助が必要な方への対応、声掛け。※基本的に倒れるものは設置していない。



地震直後

①

周囲への声掛け
①再度地震が起きる危険性があるため、職員の指示で動くよう声掛けをする。

②

周囲の被害状況確認
①負傷者の確認
②損害、倒壊箇所の確認



地震後

①

各部署のリーダーの指示により地震の対応を行きましょう。
統括：星 不在時はその日の各リーダー



②

①ラジオ・テレビ等で情報の確認
②帰宅できる患者、利用者様には促し
③帰宅困難者には、家族への連絡、自宅へ送迎、待機、避難所へ移動
④営業中止の張り紙、電話連絡と避難所の張り紙を玄関に
⑤負傷者の対応
⑥非常物品の確認

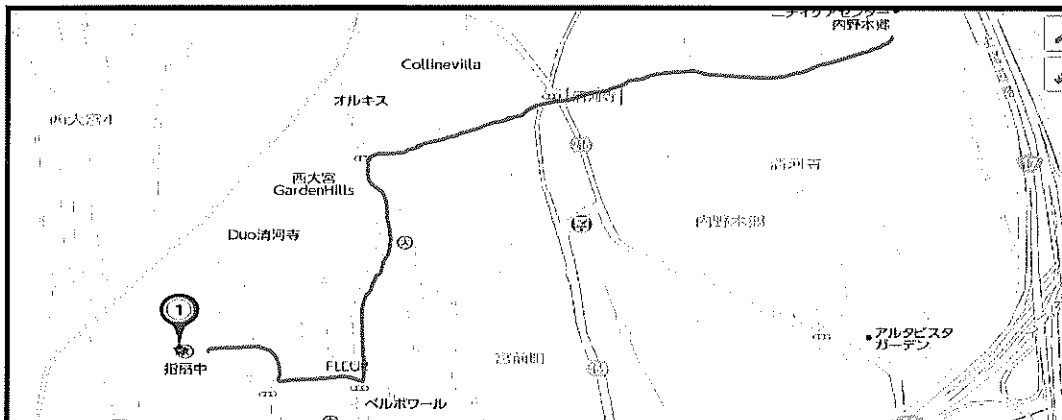


③

帰宅できる職員は帰宅。
身内の安否確認。
今後の連絡方法の確認。

④

残った職員、戸締り、近隣の救助。（倒壊、火災、液状化等）
家が倒壊している場合避難所、近隣の避難施設指扇中学校



地震発生時のフローチャート(送迎ドライバー)

地震発生

地震中	①	周囲の状況の把握 周りの損壊状況 停電などによる信号機不点灯
	②	行動に移す ※第一優先は、自身の身の安全の確保 ①路肩にハザードランプを付けて停車 ②ラジオや携帯で情報を得る ③デイケアに連絡※電波不良や対応中で出れない可能性がある ④震度5以上の地震で連発するようであれば、各自の判断で自宅へ送迎(利用中止) ⑤急に揺れる可能性がある為、玄関中まで周囲の倒壊も警戒しながら全員介助歩行 ⑥家族へ連絡する旨を伝える。利用の再開は、追って連絡すると伝える ⑦施設へ戻り、利用者様の状況報告を書面にまとめる

自宅や道路が倒壊、決壊して各ご家庭への送迎が困難な場合は、指扇中学校へ送迎。(緊急避難先)
指扇中学校も困難な場合は、近隣の公共施設へ送迎(誰をどこに送迎したのか記録を残す)